

私立大学図書館協会西地区部会 九州地区協議会
2013 年度 九州地区研究会準備委員会 議事録

日 時 平成 25 年 11 月 1 日 (金) 14 時 00 分～15 時 00 分
会 場 筑紫女学園大学 飛翔会館 3 階会議室

地区別・職務上 内規第 3 条による	大 学 名	役 職 名	氏 名
福岡南部 [2014 年度研究会幹事校]	筑紫女学園大学	図書館長 図書館課 課長 図書館課 主任 図書館課 主任	大津 忠彦 福田 千代子 東野 善男 倉永 郁子
福岡北部	西日本工業大学	図書課参与 主 事	黒岩 壽 中田 輝美
九州中部	九州ルーテル学院大学	学生支援センター課長 図書館課長代理	水谷 江美子 坂本 美樹
九州中部	長崎外国語大学	室長補佐	別所 佐和子
九州地区理事校	久留米大学	課 長 課長補佐	熊谷 まゆみ 二又 紅美子
内規第 3 条・第 3 号 [2013 年度研究会幹事校]	中村学園大学	図書課 課長	辻原 陽一
内規第 3 条・第 2 号 [前任理事校]	熊本学園大学	図書情報課長	津村 秀夫

出席者 7 館 13 名

1. 開会の言葉 九州地区理事校の久留米大学図書館 熊谷 まゆみ氏から開会の言葉
2. 当番館挨拶 2014 年度幹事校の筑紫女学園大学図書館 福田 千代子氏から当番校の挨拶
3. 議長選出 慣例により九州地区理事校の久留米大学図書館 熊谷 まゆみ氏を議長に選出
4. 資料確認
 - ① 私立大学図書館協会西地区部会 2013 年度九州地区協議会九州地区研究会準備委員会資料
 - ② 私立大学図書館協会西地区部会 2013 年度九州地区協議会九州地区研究会決算(仮)報告
 - ③ 私立大学図書館協会西地区部会 2014 年度九州地区協議会九州地区研究会開催 (案)

5. 出席者自己紹介 出席者 7 館 13 名 各自から自己紹介が行われた。

6. 協議事項

(1) 2013 年度九州地区研究会について

2013 年度幹事校の中村学園大学 辻原陽一氏から、資料に基づき以下の報告がなされた。

①研究会開催記録（資料 No.1）に基づき準備から実施までの経過説明がなされた。

②研究会決算（仮）（資料 No.2）について説明がなされ、了承された。

なお報告資料は平成 25 年 10 月 24 日現在のもので、印刷費など見込み部分もあり、まだ、確定ではないとのこと。確定後、再度提出。

また、【支出の部】郵便代の「研究会記録」送付については、A4 サイズで厚さ 1 センチ以内であれば、メール便を使えば 1 冊 80 円で送付できるという発言があり冊子完成後、検討したいとのこと。

(2) 2014 年度九州地区研究会について

2014 年度幹事校の筑紫女学園大学 福田千代子氏より別添資料により提案され、以下のとおりとなった。

1) 開催日時・会場・メインテーマ・内容等については、別添資料「2014 年度九州地区研究会実施要領(案)」を現時点での原案とする。

開催日程については、9 月 4 日あるいは 9 月第 2 週を希望であるが、久留米大学（理事校）より 9 月 4 日は、西地区の研究会の予定が入っているかもしれないとの発言があり、後日、確認することとなった。

また、研究会当日の交通の便について、会場校と最寄り駅（JR，西鉄電車）間に朝 1 本夕方 1 本のバスの運行を予定したい。自家用車の乗り入れは可能だが、学内駐車スペースが満車の場合は、近くの有料駐車場を利用してほしいとの説明があった。

「研究会開催案内」については、来年 7 月頃に別紙 3 の様式によりメールと文書で通知を行い（国公立大学へはメール案内のみ）、参加申し込み登録は今年同様に WEB で行う予定。

2) 各研究（事例）発表のタイトルについては、2014 年 3 月末までに幹事校に報告、幹事校を中心に開催内容を詰め、2014 年 4 月の九州地区協議会までに概要を確認できるようにしておく。その後、2014 年度第 1 回定例幹事会（5 月頃）にて決定する。

3) 事例（研究）発表等の時間配分（案）については次のとおりとする。

開会・挨拶	10:00～
講演（1 題）	10:10～
事例（研究）発表（1 題）	11:40～
昼食・見学	12:30～
事例（研究）発表（3 題）	13:30～
閉会	16:00～
意見交換会	16:30～

(3) その他

[理事校より]

- 1) 九州地区研究会の予算は以下のとおりとの説明があった。

2014年度	地区研究会幹事校交付金	70,000円	
2014年度	地区研究会交付金	347,000円	(5,500円×54校+50,000円)
合 計		417,000円	

加えて、2013年度繰越金。

- 2) 学生アルバイト経費は1人当たり1日5,000円で合計30,000円までを基準とする。
- 3) 講師・登壇者の研究会参加費と意見交換会費は徴収しないこととする。
- 4) 研究会当日に必要な機器の確認や悪天候の際の開催対応については、九州地区理事校、研究会幹事校、研究発表ローテーション校が相談しながら準備する。
(台風の場合は中止もありうる)
- 5) 西地区部会九州地区協議会における繰越金、予備費の執行について資料に基づき以下の説明があった。
- i) 地区協議会の繰越金の弾力的運用を図る
西地区部会における地区協議会への交付金には、「協議会交付金」と「研究会交付金」の二種類があり、後者に多くの繰越金が生じていることから、各地区の実情に合った予算編成を行い、各地区協議会総会の議を経て弾力的な運用に取り組むことが出来るよう取り計らう。
- ii) 「予備費」の「総会、研究費補助」各地区100,000円は各地区総会、協議会及び各地研究会等における特別事業について当該年度の申請をし、役員会の承認を得て執行することができる。(2013年度西地区部会総会資料より)
第2回西地区部会役員会で、2014年度九州地区協議会で国立情報学研究所の先生により「機関リポジトリについて」講演に係る交通費、宿泊代のみ申請し了承された。
- iii) 定例幹事会年2回、及び研究会準備委員会のお茶代 2,500円 (@150円*15名分) は研究会予算よりお願いしている。
- 6) 筑紫女学園大学(幹事校)から、現時点で各ローテーション校が検討している発表内容について紹介してほしい旨の依頼があり、各大学より説明があった。
- 7) 久留米大学(理事校)より来年度西地区部会研究会での研究発表予定者が、キャンセルとなったので推薦者を募るとのこと、研究発表者は教員ではなく図書館職員が望ましいとの説明があった。

(記録：筑紫女学園大学・短期大学部図書館)